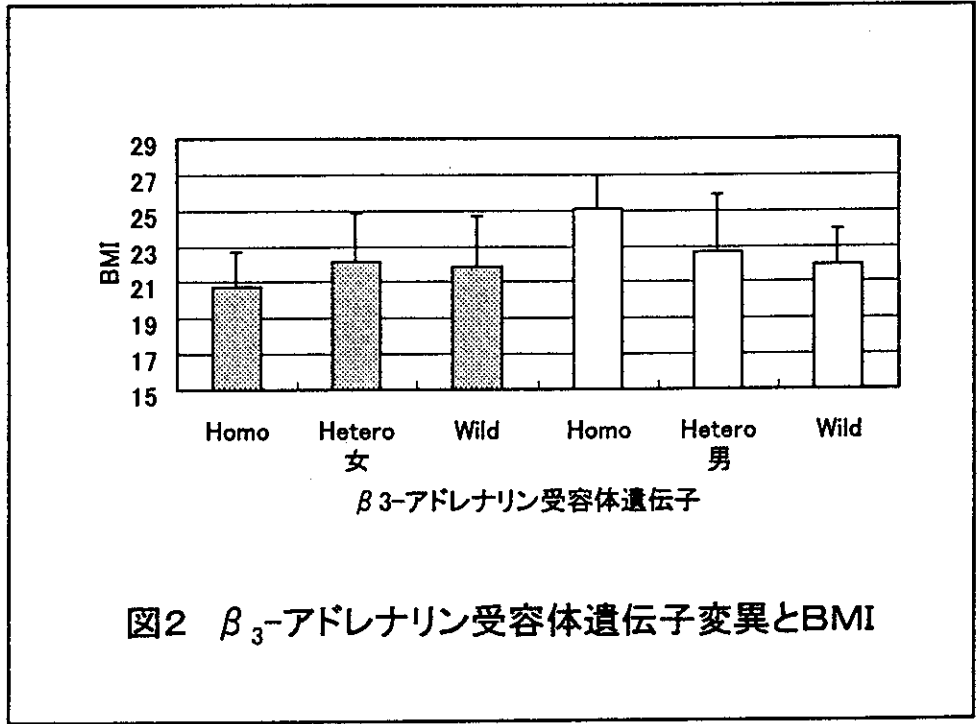
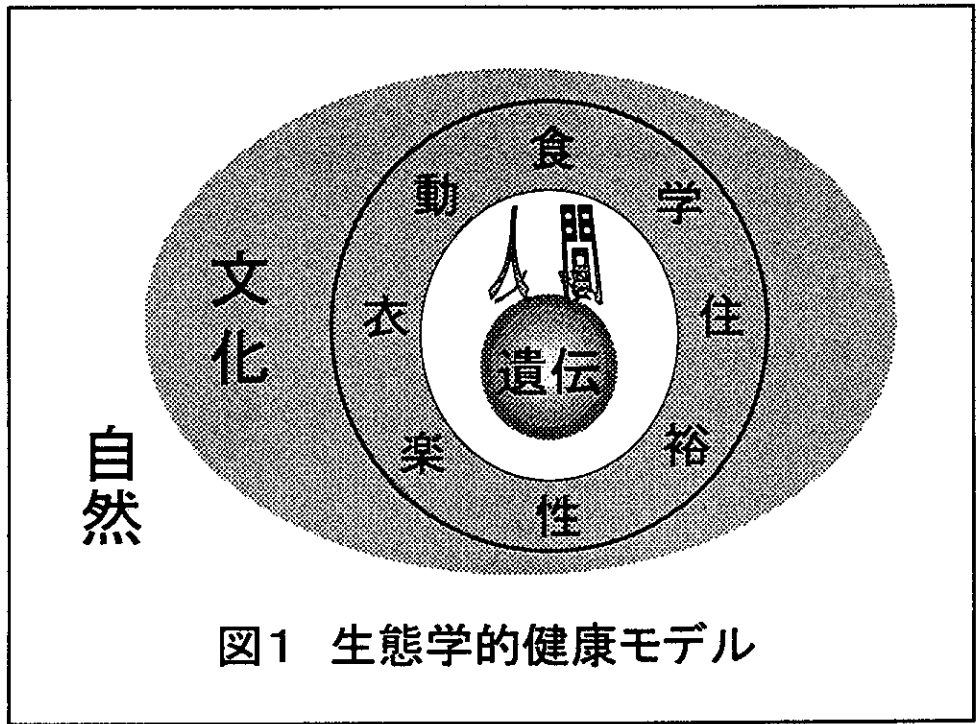
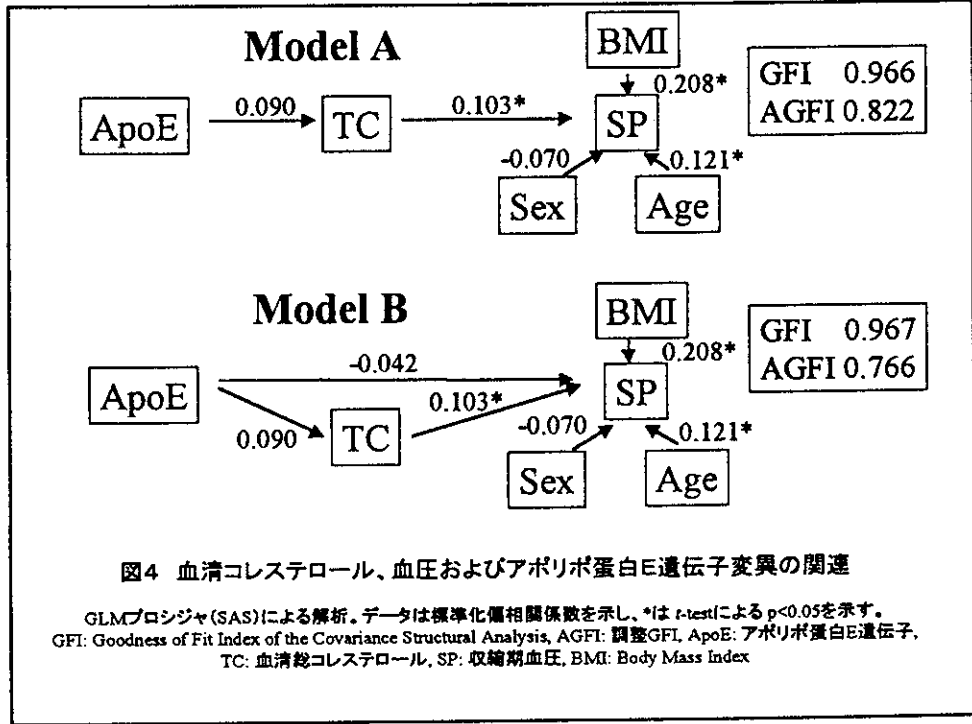
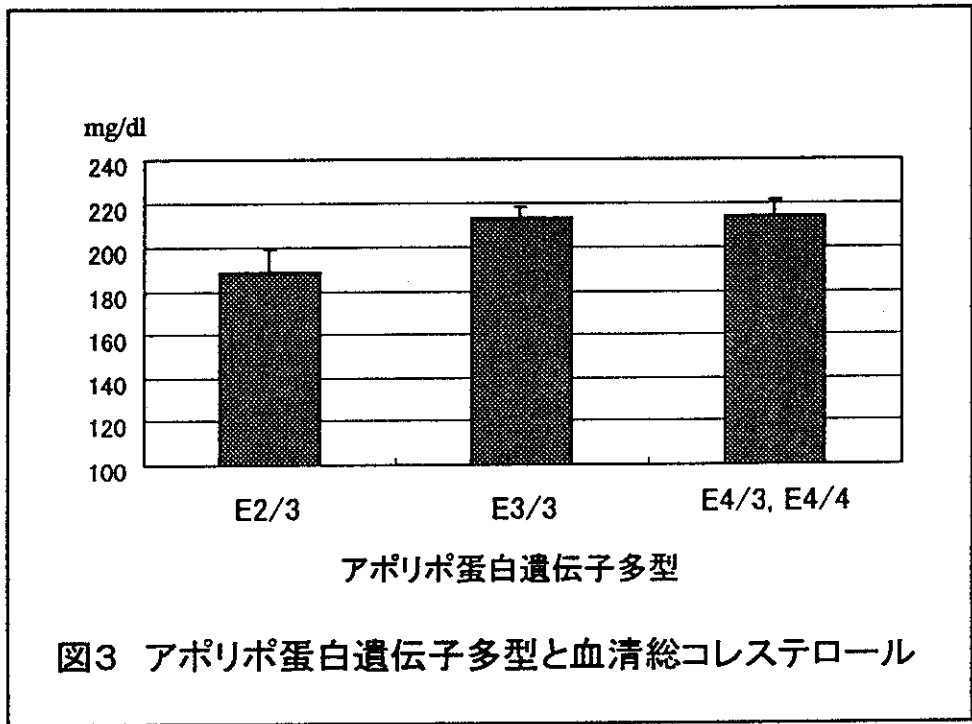
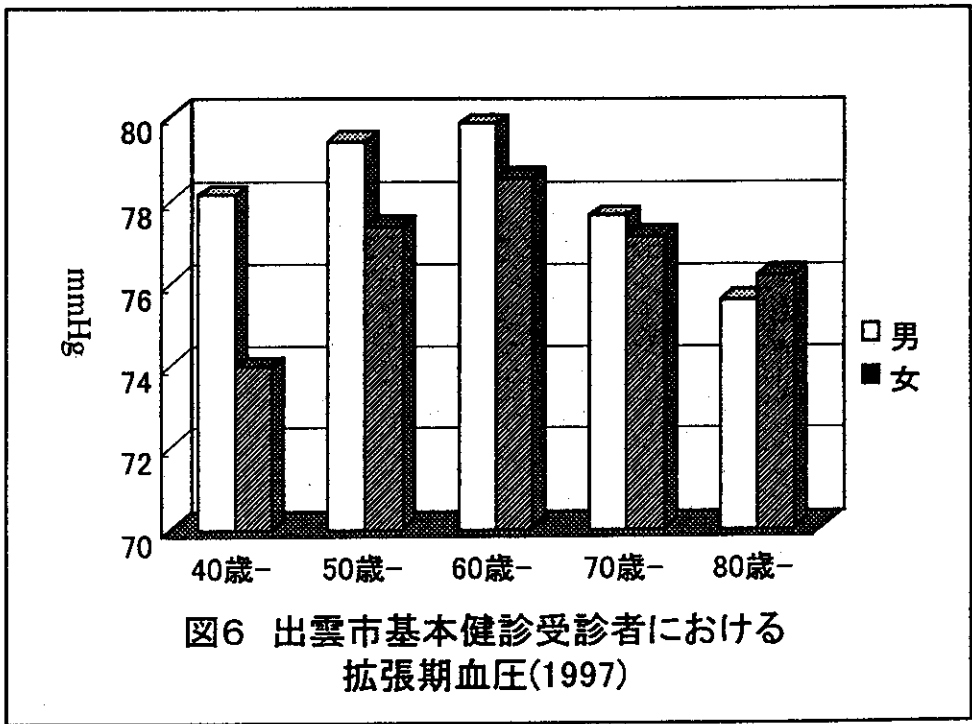
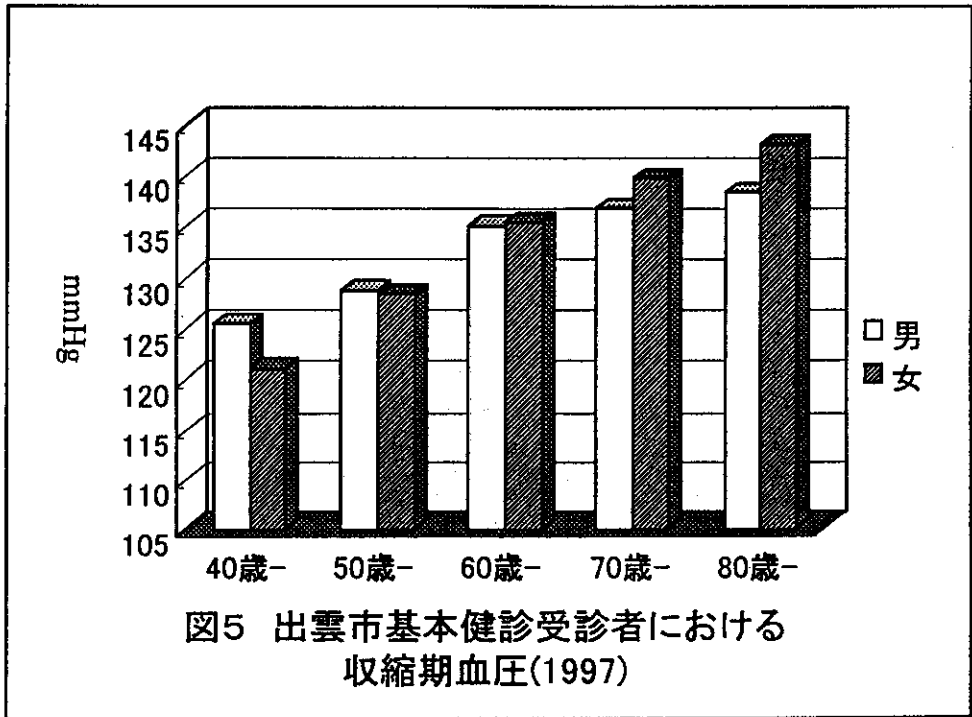
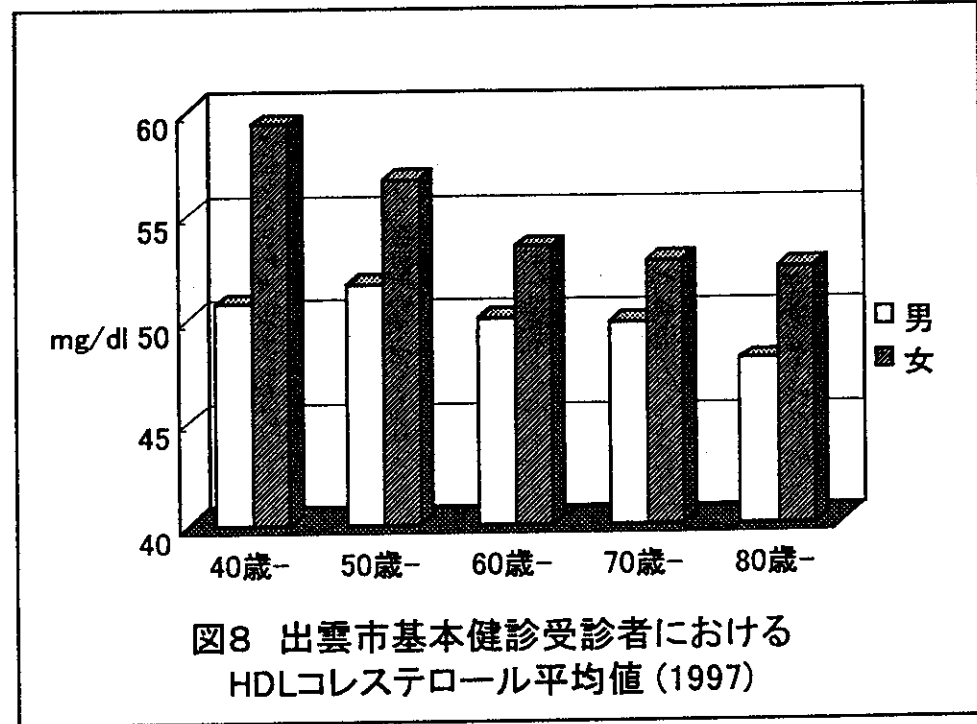
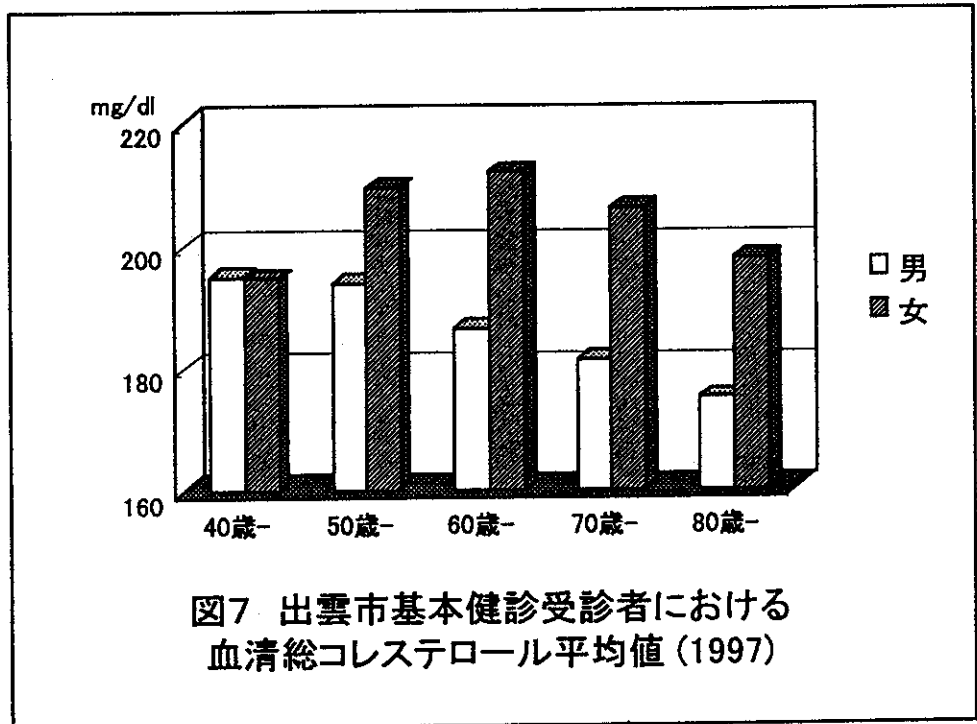


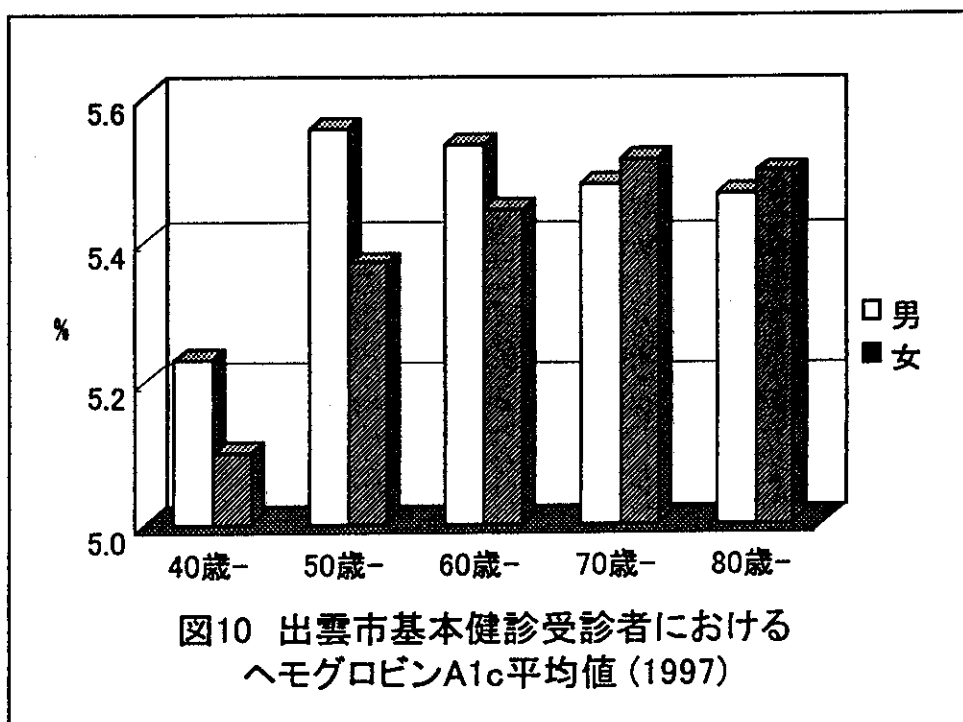
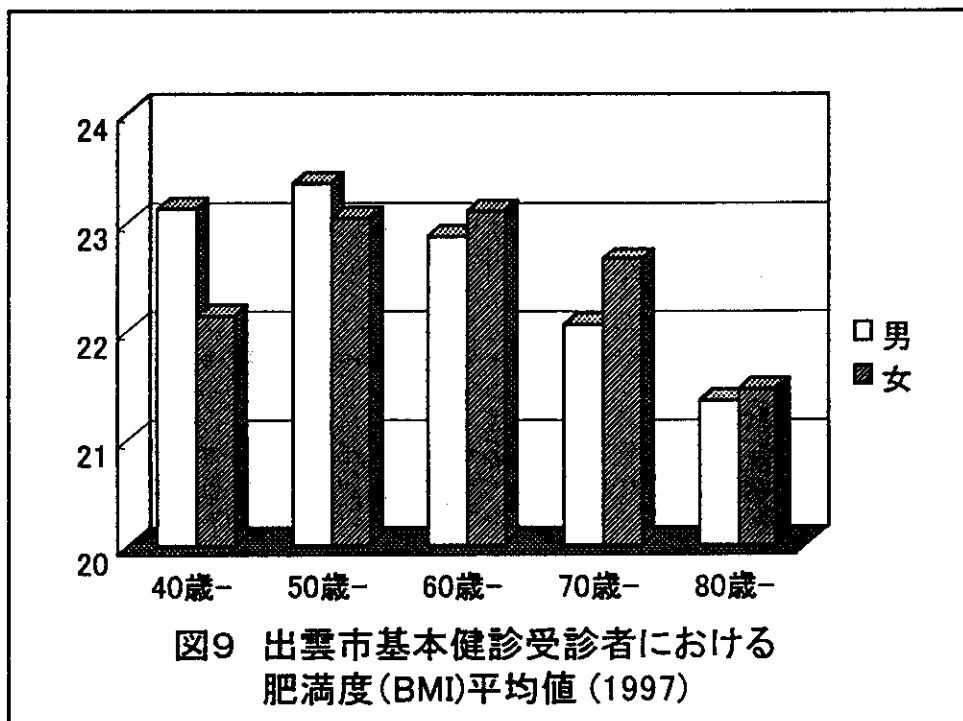
- プロジェクト(20)地域を基盤とした介護福祉士教育. 第57回日本公衆衛生学会総会, 岐阜, 1998
- 18) 周藤 努, 他: 出雲市健康文化都市プロジェクト(21)21世紀をめざした健康福祉政策. 第57回日本公衆衛生学会総会, 岐阜, 1998
- 19) 山本好美, 他: 出雲市健康文化都市プロジェクト(22)ネットワーク型エイズ学習活動の展開. 第57回日本公衆衛生学会総会, 岐阜, 1998
- 20) 塩飽邦憲, 他: 出雲市健康文化都市プロジェクト(23)プロジェクトの成果と課題. 第57回日本公衆衛生学会総会, 岐阜, 1998
- 21) 山根洋右, 他: 出雲市健康文化都市プロジェクト(24)住民参加と政策形成過程の分析. 第57回日本公衆衛生学会総会, 岐阜, 1998
- 22) 高井美紀子, 他: 市民参加型健康福祉活動と学習戦略. 第57回日本公衆衛生学会総会, 岐阜, 1998
- 23) 福島哲仁, 他: 佐田町ヘルシータウンプロジェクト(5)子供達の食行動からみた生活習慣病対策の課題. 第57回日本公衆衛生学会総会, 岐阜, 1998
- 24) 高 同強, 他: 中国におけるプライマリ・ヘルスケアの現状と課題. 第57回日本公衆衛生学会総会, 岐阜, 1998
- 25) 樽井恵美子, 他: 痴呆性老人ケアの政策樹立に関する研究. 第2回日本健康福祉政策学会, 松本, 1998
- 26) 塩飽邦憲, 他: 健康文化都市いずもにおけるコミュニティ活動に関する研究. 第2回日本健康福祉政策学会, 松本, 1998
- 27) 佐貫 弘, 他: 市民参加型健康文化都市プラン策定に関する政策科学的研究. 第2回日本健康福祉政策学会, 松本, 1998
- 28) 山根洋右, 他: コミュニティ発展における健康文化都市づくりの政策科学的分析. 第2回日本健康福祉政策学会, 松本, 1998
- 29) 塩飽邦憲, 他: 工場女性労働者における血清総コレステロールの変動に関する研究. 第42回中国四国合同産業衛生学会, 松江, 1998
- 30) 高 同強, 他: 中国における産業保健活動の現状と課題. 第42回中国四国合同産業衛生学会, 松江, 1998

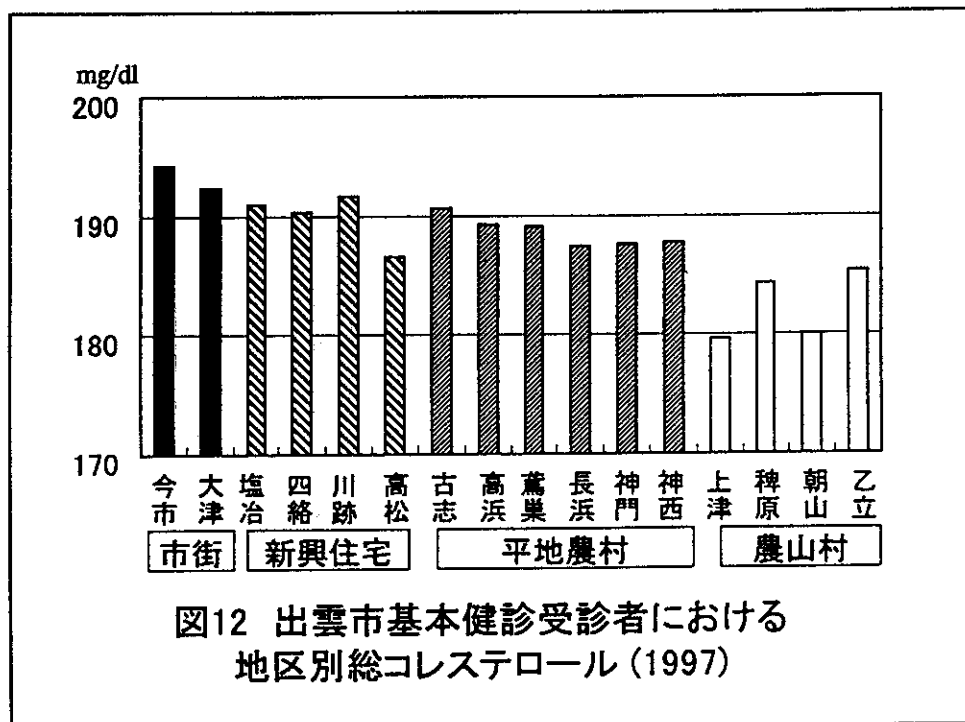
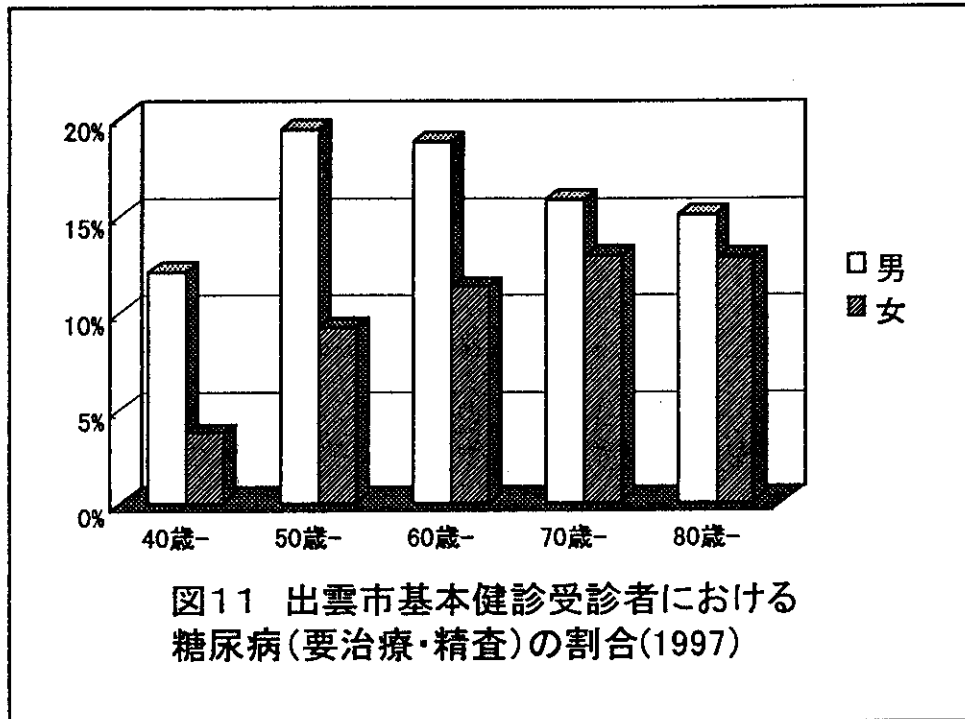












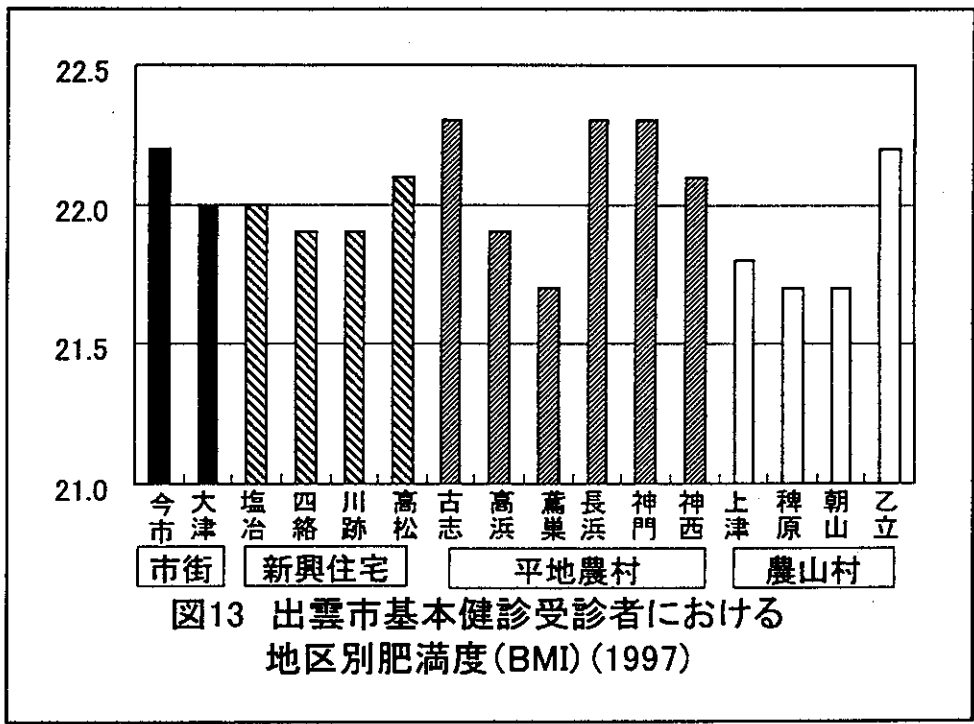


図13 出雲市基本健診受診者における
地区別肥満度(BMI) (1997)

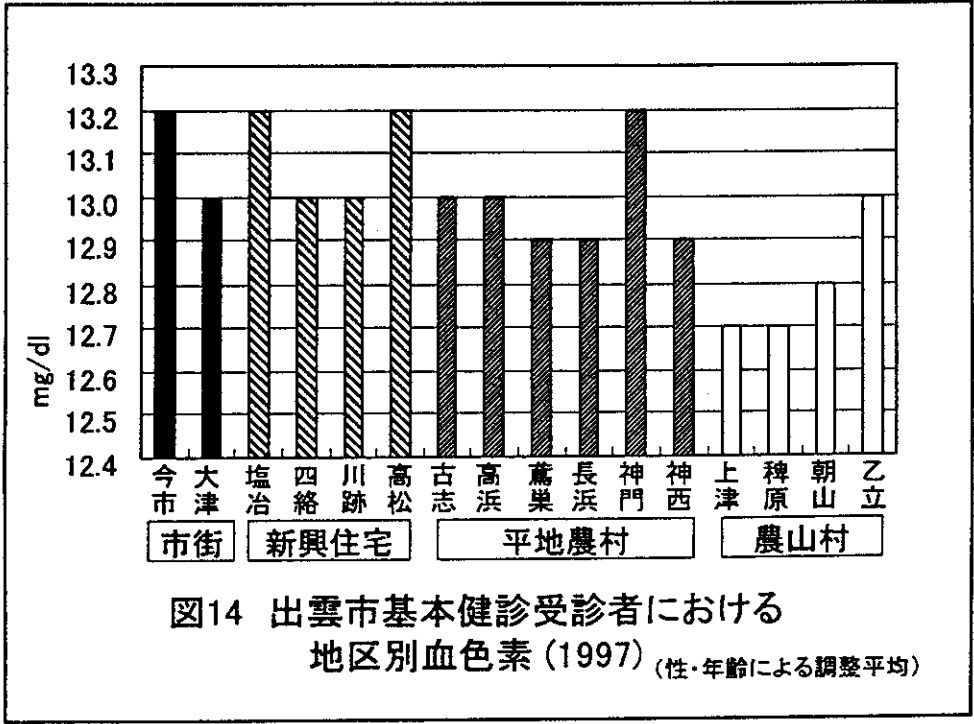


図14 出雲市基本健診受診者における
地区別血色素 (1997) (性・年齢による調整平均)

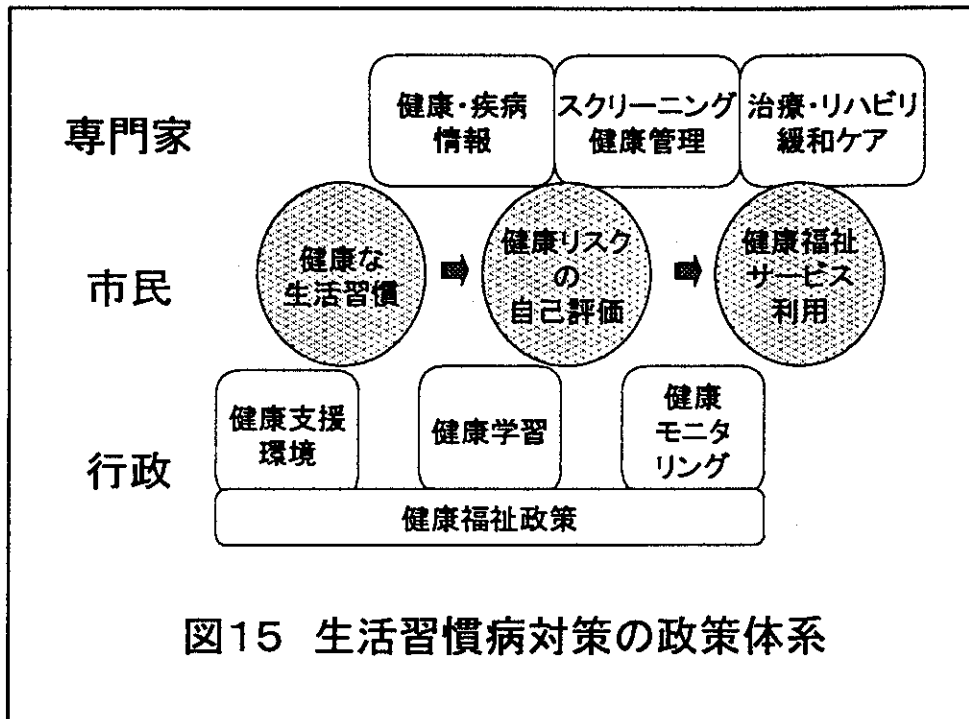


図15 生活習慣病対策の政策体系

表2 公民館区別の地域および健康福祉特性 (1997)

		今市	大津	上津	塩冶	古志	四絡	高浜	川跡
人口	人口	7,185	9,580	1,688	14,206	2,388	9,016	3,387	7,089
	世帯数	2,528	3,119	404	5,255	670	3,177	864	2,150
	世帯当たり人数	2.8	3.1	4.2	2.7	3.6	2.8	3.9	3.3
	65歳以上人口	1,703	1,684	434	1,857	480	1,331	659	1,055
	老年人口割合	23.7%	17.6%	25.7%	13.1%	20.1%	14.8%	19.5%	14.9%
	独居老人数	254	193	16	196	27	132	25	54
	独居老人割合	14.9%	11.5%	3.7%	10.6%	5.6%	9.9%	3.8%	5.1%
	出生数	51	87	14	173	23	140	37	94
	出生率	7.1	9.1	8.3	12.2	9.6	15.5	10.9	13.3
	地区特性	類型	市街	市街	農山村	新興住宅	農村	新興住宅	農村
人口変動		減少	維持	維持	増加	維持	増加	維持	増加
健康	基本健診受診率	58.5%	56.6%	53.6%	57.2%	64.0%	52.5%	55.6%	63.6%
	胃がん検診受診率	4.8%	4.5%	4.5%	2.7%	3.2%	3.5%	1.5%	3.6%
	高血圧(男, 要治療・精査)	27%	23%	18%	27%	26%	30%	21%	33%
	高血圧(女, 要治療・精査)	30%	24%	18%	29%	30%	25%	26%	34%
	収縮期血圧調整平均	134.4	133.2	131.1	134.0	135.0	135.0	135.0	137.5
	拡張期血圧調整平均	77.4	77.5	76.5	76.5	77.5	79.1	77.2	79.3
	コレステロール(男, 220mg/dl以上)	16%	16%	10%	14%	13%	15%	11%	15%
	コレステロール(女, 220mg/dl以上)	39%	37%	23%	35%	33%	36%	33%	35%
	コレステロール調整平均	194.2	192.3	179.7	190.9	190.7	190.2	189.3	191.7
	HDL-C(男, 40mg/dl未満)	23%	26%	25%	27%	25%	24%	26%	20%
	HDL-C(女, 40mg/dl未満)	12%	14%	17%	13%	12%	16%	13%	15%
	HDL-C調整平均	53.3	52.2	51.5	52.1	53.9	52.4	52.0	53.2
	貧血(男, Hb<13g/dl)	17%	20%	30%	18%	25%	21%	22%	22%
	貧血(女, Hb<12g/dl)	23%	25%	36%	23%	26%	24%	30%	27%
	血色素調整平均	13.2	13.0	12.7	13.2	13.0	13.0	13.0	13.0
	肥満(男, BMI≧25)	17%	18%	15%	20%	19%	20%	21%	16%
	肥満(女, BMI≧25)	23%	22%	21%	22%	23%	21%	21%	19%
	BMI調整平均	22.2	22.0	21.8	22.0	22.3	21.9	21.9	21.9
	肝機能(男, GPT>=35U)	9%	6%	9%	14%	8%	15%	9%	14%
	肝機能(女, GPT>=35U)	5%	4%	5%	6%	5%	8%	6%	6%
GPT調整平均	18.7	17.2	16.5	18.1	18.6	19.2	16.7	17.9	
福祉	デイサービス利用者数	79	121	41	97	20	68	62	64
	デイサービス利用率	4.6%	7.2%	9.4%	5.2%	4.2%	5.1%	9.4%	6.1%
	ホームヘルプ利用者数	101	98	22	109	13	42	18	34
	ホームヘルプ利用率	5.9%	5.8%	5.1%	5.9%	2.7%	3.2%	2.7%	3.2%
	短期入所利用者数	83	100	32	102	15	68	36	44
短期入所利用率	4.9%	5.9%	7.4%	5.5%	3.1%	5.1%	5.5%	4.2%	
健康資源	体育館	1	0	0	0	0	0	0	0
	屋内プール	0	1	0	1	0	0	0	0
	温泉	0	0	0	0	0	0	0	0
	公園	11	7	0	16	0	4	0	2
医療資源	病院	3	2	0	2	0	0	0	0
	医院	14	12	1	11	2	15	1	5
	老健施設	0	1	0	0	1	0	0	0
福祉資源	デイケア	1	1	0	0	1	1	0	1
	特別養護老人ホーム	0	1	0	0	0	2	0	0
	養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他老人施設	0	0	0	1	0	0	0	0
	デイサービス	0	2	0	1	0	1	0	0
学習資源	共同作業所	1	0	0	0	0	0	0	1
	学童保育所	1	1	0	2	0	1	0	2
	保育所・幼稚園	4	6	1	8	2	5	2	1
	小・中学校	1	2	1	2	0	2	1	0
	高校・各種学校	1	1	0	1	0	0	0	0
ボランティア	短大・大学	0	0	0	1	0	0	0	0
	高齢者ミニ・デイサービス(月1回以上)	1	0	1	0	1	0	1	0
	老人クラブ加入率	46.2%	25.5%	75.8%	45.5%	70.6%	59.2%	65.1%	67.7%
	子育てグループ数	2	4	1	4	1	2	0	3
子育てグループ加入家族数	25	41	20	100	20	30	0	60	

*調整平均は、性と年齢を多変量解析により調整している。

		高松	津原	朝山	乙立	高松	長浜	神門	神西
人口	人口	1,644	2,319	2,304	969	9031	5,143	6,454	3,650
	世帯数	414	540	547	258	2683	1,402	1,777	1,187
	世帯当たり人数	4.0	4.3	4.2	3.8	3.4	3.7	3.6	3.1
	65歳以上人口	338	629	582	254	1353	1,229	1,098	733
	老年人口割合	20.6%	27.1%	25.3%	26.2%	15.0%	23.9%	17.0%	20.1%
	独居老人数	13	20	17	19	71	64	59	23
	独居老人割合	3.8%	3.2%	2.9%	7.5%	5.2%	5.2%	5.4%	3.1%
	出生数	17	14	18	11	89	36	72	30
出生率	出生率	10.3	6.0	7.8	11.4	9.9	7.0	11.2	8.2
	類型	農村	農村	農山村	農山村	新興住宅	農村	農村	農村
地区特性	人口変動	維持	減少	維持	減少	増加	維持	増加	維持
	健康	基本健診受診率	51.5%	57.4%	63.4%	74.6%	54.6%	62.1%	56.1%
健康	胃がん検診受診率	5.0%	3.2%	3.1%	24.1%	3.5%	4.7%	5.6%	5.6%
	高血圧(男, 要治療・精査)	23%	37%	40%	33%	26%	25%	28%	21%
	高血圧(女, 要治療・精査)	27%	33%	48%	42%	28%	34%	32%	28%
	収縮期血圧調整平均	136.9	136.7	136.6	134.3	131.3	133.0	133.2	128.9
	拡張期血圧調整平均	75.1	77.6	78.3	79.5	76.0	75.5	77.2	74.3
	コレステロール(男, 220mg/dl以上)	15%	9%	7%	11%	15%	11%	10%	14%
	コレステロール(女, 220mg/dl以上)	34%	27%	21%	30%	29%	33%	32%	29%
	コレステロール調整平均	189.1	184.3	180.1	185.4	186.6	187.4	187.6	187.8
	HDL-C(男, 40mg/dl未満)	34%	34%	30%	27%	23%	36%	25%	26%
	HDL-C(女, 40mg/dl未満)	21%	27%	21%	15%	14%	25%	15%	18%
	HDL-C調整平均	59.6	48.4	49.8	51.5	52.0	48.1	52.0	51.4
	貧血(男, Hb<13g/dl)	34%	27%	30%	21%	17%	27%	18%	29%
	貧血(女, Hb<12g/dl)	38%	37%	35%	28%	24%	35%	25%	32%
	血色素調整平均	12.9	12.7	12.8	13.0	13.2	12.9	13.2	12.9
	肥満(男, BMI>=25)	11%	12%	12%	19%	19%	18%	21%	20%
	肥満(女, BMI>=25)	21%	18%	21%	28%	23%	24%	28%	22%
	BMI調整平均	21.7	21.7	21.7	22.2	22.1	22.3	22.3	22.1
	肝機能(男, GPT>=35U)	9%	10%	17%	9%	14%	9%	10%	13%
	肝機能(女, GPT>=35U)	4%	3%	7%	4%	9%	5%	8%	7%
	GPT調整平均	17.6	17.0	20.6	17.3	18.7	17.6	18.9	20.0
福祉	デイサービス利用者数	13	53	43	21	70	67	71	57
	デイサービス利用率	3.8%	8.4%	7.4%	8.3%	5.2%	5.5%	6.5%	7.8%
	ホームヘルプ利用者数	11	32	24	7	39	72	49	25
	ホームヘルプ利用率	3.3%	5.1%	4.1%	2.8%	2.9%	5.9%	4.5%	3.4%
	短期入所利用者数	15	40	42	10	57	72	63	42
	短期入所利用率	4.4%	6.4%	7.2%	3.9%	4.2%	5.9%	5.7%	5.7%
健康資源	体育館	0	0	0	0	0	1	0	0
	屋内プール	0	0	0	0	0	0	0	0
	温泉	1	0	0	0	0	0	1	0
	公園	0	1	1	1	1	1	1	0
医療資源	病院	0	0	0	0	0	0	1	0
	医院	1	1	1	1	4	2	1	5
	老健施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	デイケア	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉資源	特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	1
	養護老人ホーム	0	0	0	0	1	1	0	0
	その他老人施設	0	0	0	0	1	0	0	0
	デイサービス	0	0	0	1	1	0	0	2
学習資源	共同作業所	0	0	0	0	0	0	0	1
	学童保育所	0	0	0	0	1	0	0	0
	保育所・幼稚園	1	1	1	1	3	4	3	1
	小・中学校	0	1	2	1	2	1	2	1
	高校・各種学校	1	0	0	0	1	1	1	0
	短大・大学	1	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア	高齢者ミニ・デイサービス(月1回以上)	0	1	0	0	0	0	0	1
	老人クラブ加入率	70.4%	98.6%	75.3%	7.1%	46.3%	61.6%	74.0%	59.8%
	子育てグループ数	1	1	2	1	2	1	1	1
	子育てグループ加入家族数	15	10	40	20	25	20	20	30

表4 出雲市健康文化都市指標

大分野	細目	単位および備考	出雲市の現状 (1997)	全国の現状 (1995)	出雲市目標値 (2010)		
人口	人口 出生 加齢	人口 出生率 老年人口割合	86,053 8.8 17.9%	9.6 14.5%	100,000 8.8 21.7%		
健康	全般的	生活満足度 自覚的健康度 障害のない生存期間	要開発 要開発 要開発				
	総合死亡指標	乳児死亡率 妊産婦死亡 PMI(50歳以上の死亡割合)	出生千対(1994-6年平均) 出生10万対(1994-6年平均) 1994-6年平均	4.4 6.9 92.2%	4.3 0.0 92.2%	4.0 0.0 94.0%	
	特定死亡指標	悪性新生物 脳血管疾患 心疾患	人口10万対 人口10万対 人口10万対	259.3 98.4 100.7	211.6 112.0 117.9	233.4 98.4 100.7	
	母子保健	事故・中毒死亡数 低出生体質児 児童虐待	1994-6年平均(人口10万対) 出生千対(1994-5) 児童相談所養護相談件数	28.6 78.9 33	36.5 66.0	25.0 65.0 30	
	学校保健	立位体前屈 斜頸歪胸屈伸	11歳男子 11歳男子		6.43 26.86	6.43 26.86	
	成人保健	血清コレステロール(要精査・観察率)	小学4年生, 1995	21.5%		20.0%	
		肥満度	小学生(97%以上), 1995	5.3%		4.5%	
		収縮期血圧	基本健診, 50歳代, 男	128.7	139.7	128.7	
			基本健診, 50歳代, 女	128.4	137.2	128.4	
		拡張期血圧	基本健診, 50歳代, 男	79.4	86.4	79.4	
			基本健診, 50歳代, 女	77.4	83.2	77.4	
		血清コレステロール値	基本健診, 50歳代, 男	193.8	206.1	190.0	
			基本健診, 50歳代, 女	209.4	222.7	200.0	
	老人保健・福祉	ヘモグロビンA1c	基本健診, 50歳代, 男 基本健診, 50歳代, 女	5.55 5.37		5.50 5.30	
		肥満度	基本健診, 50歳代, 男, BMI 基本健診, 50歳代, 女, BMI	23.3 23.0	23.5 23.3	23.0 22.5	
		寝たきり老人割合	老人人口当たり	3.1%	5.3%	3.0%	
		廃棄性老人割合	老人人口当たり	5.5%	4.8%	5.5%	
	精神保健	ストレス度 自殺	要開発 1994-6年平均(人口10万対)	12.3	17.2	10.0	
	感染症	精神障害入院者数	人口千対	2.28	2.71	2.00	
		結核り患率	1994-6年平均(人口10万対)	21.2	34.2	20.0	
食中毒り患率		人口10万対	0.0	21.0	0.0		
歯科保健	う歯本数 う歯罹患率	3歳児1人当たり 小学生	1.80 86.2%	2.16 85.7%	1.80 80.0%		
生活習慣	食べる	4カ月児, 母乳 魚摂取 緑黄色野菜摂取	4カ月児 毎日摂取 2回/日以上	34% 32.9% 62.0%	38% 33.0% 65.0%	38% 33.0% 65.0%	
	たばこ	喫煙率	基本健診, 50歳代, 男(全国は全年齢) 基本健診, 50歳代, 女(全国は全年齢)	45.7% 1.1%	52.7% 10.6%	35.0% 2.0%	
	お酒	たばこ販売本数 飲酒率(1合以上)	成人1人当たり, 1996 基本健診, 50歳代, 男	3,833 43.4%	3,597	3,500 40.0%	
	運動する	運動週3回以上	基本健診, 50歳代, 女 基本健診, 50歳代, 男	0.1% 23.7%	0.1%	0.1% 25.0%	
	働く	労働9時間/日以内	基本健診, 50歳代, 男 基本健診, 50歳代, 女	25.7% 84.2%	30.0%	30.0% 88.0%	
	眠る	睡眠7-8時間/日	基本健診, 50歳代, 男 基本健診, 50歳代, 女	66.3% 47.1%	80.0%	80.0% 55.0%	
	清潔にする	歯磨き3回以上/日	基本健診, 50歳代, 男 基本健診, 50歳代, 女	36.9% 11.7% 22.3%	50.0%	50.0% 30.0% 35.0%	
	健康支援 環境	働く	1人当たり所得 平均月間総実労働時間数	千円(1994) 事業所規模5人以上	2,396	3,118 159.9	2,635 160.0
		育てる	就業者数		44,530		53,000
		学ぶ	合計特殊出生率 図書館利用者数	1.71 1996	1.71	1.42	1.70 120,000
遊ぶ		テレビ・テレビゲーム	1時間30分以内, 南中校区小学生	36%		30%	
費やす		小売店販売額	1994(億円)	1,169		1,400	
交わる		交流人口 外国人登録者数		657,000 764		750,000 900	
住む		1世帯当たり延べ面積	1994	133.6	85.9	130.0	
暮らす		火災発生数	人口10万人当たり, 1994-6年平均	49.4	50.8	40.0	
		公園数		53		70	
		公害苦情件数 交通事故発生数	人口10万対 人口10万人当たり, 1994-6年平均	67.4 381	49.5 619	50.0 300	

大分野	細目	単位および備考	出雲市の現状 (1997)	全国の現状 (1995)	出雲市目標値 (2010)	
生態系	水	生物化学的酸素要求量BOD	新内藤川, mg/l	7.5	5.0	
		化学的酸素要求量COD	神西湖, mg/l	9.0	5.9	
	大気	硫黄酸化物	県立中央病院屋上(4月), PbO ₂ 法SO ₂ 換算値ppb	6.7	40以下	3.0
		二酸化窒素	県立中央病院屋上(4月), NO ₂ ppb	1.9	60以下	1.0
サービス	健康	子育てグループ登録家族数		476	1,000	
		禁煙教室・活動参加者数		20	300	
		ミニ・デイサービス数	月1回以上開催	7	30	
		基本健診受診率		0.57	0.65	
	医療	病床数	人口10万対	2,166	1,322	2,166
		訪問看護ステーション数	日本は出雲市の老年人口に換算	5	1.9	8
		デイケア数	日本は出雲市の老年人口に換算	5	2.2	8
		1人当たり老人医療費	1996	671,761	752,000	750,000
	福祉	ヘルパー数(常勤換算)	日本は出雲市の老年人口に換算	64	52.7	100
		デイサービスセンター数	日本は出雲市の老年人口に換算	8	6.1	10
		ショートステイベッド数	日本は出雲市の老年人口に換算	40	29.7	60
		在宅介護支援センター数	日本は出雲市の老年人口に換算	2	3.8	5
	環境	特別養護老人ホーム入所割合	老人人口当たり	1.23%	1.16%	1.10%
		小規模共同作業所数		5		10
		グループホーム数		2		10
		ごみリサイクル率	1996	14.7%	10.0%	20.0%
		ごみ排出量(1人1日当たり)	一般廃棄物, グラム, 1996	856	1,106	860
		給水量(1日1人当たり)	リットル, 1996	224	391	240
	学習	下水道普及率		16.1%	44.3%	50.0%
		健康学習機会		要開発		
政策	政策策定	審議会等の女性委員割合		要開発		
	財政	情報公開度 財政力指数	1995	0.614	0.479	0.620

* 年齢構成などの違いにより、単純に比較できない値を示す。

分担研究者 高 科 成 良 J A 広島総合病院 名誉院長

研究協力者 石 田 和 史 J A 広島総合病院 内科部長

研究要旨 広島県西部近郊農村居住者を対象とした集団健康診断受診者 1329 例について健康診断受診時、生活習慣と関連が強い高血圧、肥満、高脂血症、糖尿病、心電図虚血性変化が発見されたものとこれらの疾病が発見されなかったものを比較検討して、収縮期血圧は 130mmHg、拡張期血圧は 85mmHg、BMI は 24.0Kg/m²、コレステロールは 200mg/dl、中性脂肪は 150mg/dl (できれば 100mg/dl)、空腹時血糖は 110mg/dl 未満を維持するように指導することが高血圧、肥満、高脂血症、糖尿病、心電図虚血性変化等生活習慣に起因すると考えられる疾病の発症をかなり予防し得るという結果を得た。

A. 研究目的

日常の生活習慣が発症の大きな要因となる疾病、いわゆる生活習慣病の発症予防の検討は最近かなり実施されている。我が国においては過去 50 年間、国民の生活水準はかなり急激に向上し、これに伴う疾病構造の変化は著しく、国民の健康問題に大きな影をなげかけるようになってきた。生活習慣の改善、特に食事の是正と運動の励行が生活習慣病の発症予防はもとより、健康維持のため必要であることはよく知られているが、その普及・徹底は充分でないように思われる。生活習慣病の発症予防は健康維持からみても、また医療経済面よりみても緊急を要する問題であり、生活習慣病発症 Risk の高いものに対する指導が必要である。その Risk としては食事、運動、喫煙、アルコール摂取等日常生活面の問題と個々の身体状況の問題がある。この度は、従来検討してきた成績 1) を加味しながら健康診断受診時、高血圧、肥満、高脂血症、糖尿病、心電図虚血性変化が発見されたものとこれらの疾病が発見されなかったものについて身体状況を比較検討し、生活習慣病予防のための身体状況 Risk 指標を考察した。

B. 研究方法

研究対象; 広島県西部都市近郊農村居住者を対象として、平成 9 年度に実施した集団健康診断(75gOGTT を含む)受診者 1538 例中、疾病治療中のもの 209 例を除外した 1329 例(男性 451 例、女性 878 例)を研究対象とした(表 1)。

表 1 調査対象

年齢	30 歳～	40 歳～	50 歳～	60 歳～	70 歳～	合計
男性	75	145	124	60	47	451
女性	53	145	276	316	88	878
合計	128	290	400	376	135	1,329

研究方法; 研究対象を高血圧群(収縮期血圧 140 mmHg 以上あるいは拡張期血圧 90 mmHg 以上)、肥満群(BMI 26.0 Kg/m² 以上)、高脂血症群(血清コレステロール 220 mg/dl 以上あるいは中性脂肪 150 mg/dl 以上)、糖尿病群(空腹時血糖 126 mg/dl 以上あるいは 75gOGTT 2 時間血糖 200 mg/dl 以上)、心電図虚血性変化群(ミネコート 1-1-1~1-3-9、4-1~4-3、5-1~5-4)と対照群(高血圧、肥満、高脂血症、糖尿病、心電図虚血性変化が発見されなかったもの)に分類し、血圧、BMI、コレステロール(TC)、中性脂肪(TG)、HDL-コレステロール(HDL-C)、動脈硬化指数(AI)、血糖(PG)、尿酸(UA)、クレアチン(Cr)、尿アルブミン指数(M-aib)、GOT

(AST)、GPT(ALT)、 γ -GTP について対照群と各疾病群の比較検討を実施した。各疾病群では高血圧と肥満、高血圧と糖尿病等 2 疾病以上の合併が男性 174 例、女性 322 例みられたが、症例数の関係で 2 疾病以上の合併群と対照群との比較検討は実施しなかった。検体は空腹時に採血し、コレステロール、中性脂肪、尿酸、クレアチニンは酵素法、HDL-C は化学修飾酵素法、血糖はヘキシナーゼ法、微量アルブミンは免疫比濁法、GOT、GPT は JSCC 準拠法、 γ -GTP は SSCC 勧告法で測定した。

なお、有意差検定を発現率は χ^2 検定、平均値は t 検定で実施した。

C. 研究結果

1) 血圧 血圧を血圧 1(収縮期血圧 130 mmHg 未満かつ拡張期血圧 85 mmHg 未満)、血圧 2(収縮期血圧 130~139 mmHg かつ拡張期血圧 85~89 mmHg)、血圧 3(収縮期血圧 140 mmHg 以上あるいは拡張期血圧 90 mmHg 以上)に分類して比較すると表 2 に示したように、男女とも血圧 1 の発現率は対照群(男性：67.8%、女性：

80.1%)に比べて肥満群(男性：27.3%、女性：43.4%)、高脂血症群(男性：40.6%、女性：52.3%)、糖尿病群(男性：43.7%、女性：51.9%)、心電図虚血性変化群(男性：26.5%、女性：44.8%)の方が有意に低率であったが、血圧 2 の発現率は男女とも対照群と各疾病群の間に大差はみられなかった。収縮期血圧および拡張期血圧の平均値は男女とも対照群(男性;収縮期血圧 122.8 mmHg、拡張期血圧 74.7 mmHg、女性;収縮期血圧 117.5 mmHg、拡張期血圧 70.7 mmHg)に比べて肥満群(男性;収縮期血圧 133.8 mmHg、拡張期血圧 81.3 mmHg、女性;収縮期血圧 130.9 mmHg、拡張期血圧 79.8 mmHg)高脂血症群(男性;収縮期血圧 131.2 mmHg、拡張期血圧 79.1 mmHg、女性;収縮期血圧 127.7 mmHg、拡張期血圧 76.7 mmHg)、糖尿病群(男性;収縮期血圧 131.8 mmHg、拡張期血圧 78.0 mmHg、女性;収縮期血圧 130.6 mmHg、拡張期血圧 77.3 mmHg)、心電図虚血性変化群(男性;収縮期血圧 138.8 mmHg、拡張期血圧 83.2 mmHg、女性;収縮期血圧 130.5 mmHg、拡張期血圧 78.0 mmHg)の方が有意に高い値であった。

表 2 血圧 発現率 (%) 平均値 (mmHg)

	対象	発現率 (%)			平均値 (mmHg)		
		血圧 1	血圧 2	血圧 3	収縮期血圧	拡張期血圧	
男	146	97(67.8)	47(32.2)	0	122.8 ± 8.5	74.7 ± 7.7	
	高血圧	128	0	128(100.0)※※	147.8 ± 12.4 ※※	88.1 ± 10.3 ※※	
	肥満	66	18(27.3)※	25(37.9)	23(34.8)※※	133.8 ± 14.2 ※※	81.3 ± 10.1 ※※
	高脂血症	219	89(40.6)※	63(28.8)	67(30.6)※※	131.2 ± 15.0 ※※	97.1 ± 11.2 ※※
性	糖尿病	32	14(43.7)	8(25.0)	10(31.3)※※	131.8 ± 16.0 ※※	78.0 ± 10.5 ※※
	心電図虚血性変化	34	9(26.5)※※	6(17.6)	19(55.9)※※	138.8 ± 18.5 ※※	83.2 ± 15.9 ※※
女	276	221(67.8)	55(19.9)	0	117.5 ± 11.6	70.7 ± 7.7	
	高血圧	182	0	182(100.0)※※	147.2 ± 11.7 ※※	85.5 ± 8.5 ※※	
	肥満	99	43(43.4)※	21(21.2)	35(34.5)※※	130.9 ± 16.7 ※※	79.8 ± 9.3 ※※
	高脂血症	451	236(52.3)※	161(22.4)	114(25.3)※※	127.7 ± 15.8 ※※	76.7 ± 9.2 ※※
性	糖尿病	27	14(51.9)	4(14.8)	9(33.3)※※	130.6 ± 14.2 ※※	77.3 ± 8.4 ※※
	心電図虚血性変化	165	74(44.8)※※	38(23.0)	53(32.1)※※	130.5 ± 17.1 ※※	78.0 ± 9.3 ※※

注：血圧 1：収縮期血圧 130 mmHg 未満かつ拡張期血圧 85 mmHg 未満、

血圧 2：収縮期血圧 130 ~ 138 mmHg かつ拡張期血圧 85 ~ 89 mmHg

血圧 3：収縮期血圧 140 mmHg 以上あるいは拡張期血圧 90 mmHg 以上、※：p < 0.05、※※ p < 0.01

2) BMI(Body Mass Index) BMI を BMI 1 (BMI 26.0 以上)に分類して比較すると表 3 に (BMI 24.0 未満)、BMI 2(BMI 24.0~25.9)、BMI 3 示したように、男女とも BMI 1 の発現率は対

照群(男性；69.2%、女性；83.3%)に比べて高血圧群(男性；51.5%、女性；50.0%)、高脂血症群(男性；43.8%、女性；61.0%)、糖尿病群(男性；46.9%、女性；40.7%)、心電図虚血性変化群(男性；61.8%、女性；57.6%)の方が有意に低率であり、BMI 2 の発現率は男性においては対照群と各疾病群の間に大差はみられなかったが、女性では対照群(16.7%)に比べて高血圧群(25.3%)、高脂血症群(23.5%)、糖尿病群

(33.3%)、心電図虚血性変化群(24.2%)の方が有意に高率であった。BMI の平均値は男女とも対照群(男性；22.5 Kg/m²、女性；21.9 Kg/m²)に比べて高血圧群(男性；24.1 Kg/m²、女性；24.0 Kg/m²)、高脂血症群(男性；24.4 Kg/m²、女性；23.2 Kg/m²)、糖尿病群(男性；24.3 Kg/m²、女性；24.5 Kg/m²)、心電図虚血性変化群(男性；23.8 Kg/m²、女性；23.4 Kg/m²)の方が有意に高い値であった。

表3 BMI		発現率 (%)			平均値 (Kg/m ²)
	例数	BMI 1	BMI 2	BMI 3	BMI
対象	146	101(69.2)	45(32.2)	0	22.5 ± 2.2
男					
高血圧	128	66(51.5)※※	29(22.7)	33(25.8)※※	24.1 ± 2.9※※
肥満	66	0	0	66(100.0)※※	28.0 ± 2.0※※
高脂血症	219	96(43.8)※※	60(27.4)	63(28.8)※※	24.4 ± 2.8※※
性					
糖尿病	32	15(46.9)※※	9(28.1)	8(25.0)※※	24.3 ± 1.9※※
心電図虚血性変化	34	21(61.8)※	6(17.6)	7(20.6)※※	23.8 ± 3.4※※
対象	276	230(83.3)	46(16.7)	0	21.9 ± 2.2
女					
高血圧	182	91(50.0)※※	46(25.3)※※	45(24.7)※※	24.0 ± 3.2※※
肥満	99	0	0	99(100.0)※※	28.2 ± 1.6※※
高脂血症	541	275(61.0)※※	106(23.5)※※	70(15.5)※※	23.2 ± 3.2※※
性					
糖尿病	27	11(40.7)※	9(33.3)※	7(25.9)※※	24.5 ± 3.2※※
心電図虚血性変化	165	95(57.6)	40(24.2)※	30(18.2)※※	23.4 ± 3.0※※

註：BMI 1：24.0未満、BMI 2：24.0～25.9、BMI 3：26.0以上

※：p < 0.05、※※：p < 0.01

2) コレステロール(TC) コレステロールを TC 1(コレステロール 200 mg/dl 未満)、TC 2(コレステロール 200~219 mg/dl)、TC 3(コレステロール 220 mg/dl 以上)に分類して比較すると表4に示したように男女ともTC 1の発現率は対照群(男性；69.9%、女性；60.9%)に比べて高血圧群(男性；35.9%、女性；21.5%)、肥満群(男性；43.9%、女性；21.2%)、糖尿病群(男性；43.8%、女性；14.8%)、心電図虚血性変化群(男性；35.3%、女性；27.3%)の方が有意に低率であり、TC 2の発現率は男女とも対照群に比べて各疾病群の方が低率であった。コレステロールの平均値は男女とも対照群(男性；187.1 mg/dl、女性；191.6 mg/dl)に比べて高血圧群(男性；210.3 mg/dl、女性；225.0 mg/dl)、肥満群(男性；209.7 mg/dl、女性；222.8 mg/dl)、糖尿病群(男性；211.6 mg/dl、女性；222.9 mg/dl)、心電

図虚血性変化群(男性；212.1 mg/dl、女性；221.8 mg/dl)の方が有意に高い値であった。

4) 中性脂肪(TG) 中性脂肪を TG 1(中性脂肪 100 mg/dl 未満)、TG 2(中性脂肪 100~149 mg/dl)、TG 3(中性脂肪 150 mg/dl 以上)に分類して比較すると表5に示したように、男女ともTG 1の発現率は対照群(男性；58.9%、女性；81.2%)に比べて高血圧群(男性；41.4%、女性；52.2%)、肥満群(男性；13.6%、女性；40.4%)、糖尿病群(男性；34.4%、女性；48.1%)、心電図虚血性変化群(男性；29.4%、女性；63.0%)の方が有意に低率であった。TC 2の発現率は男性においては対照群(41.1%)に比べて高血圧群(28.9%)、肥満群(30.3%)の方が有意に低率であり、女性では対照群(18.8%)に比べて高血圧群(32.4%)、肥満群(44.4%)、糖尿病群(40.8%)の

方が有意に高率であった。中性脂肪の平均値は男女とも対照群(男性; 95.8 mg/dl、女性; 75.5 mg/dl)に比べて高血圧群(男性; 141.9 mg/dl、女性; 114.0 mg/dl)、肥満群(男性; 198.9 mg/dl、女性; 119.5 mg/dl)、糖尿病群(男性; 179.8 mg/dl、女性; 116.9 mg/dl)、心電図虚血性変化群(男性; 151.1 mg/dl、女性; 99.3 mg/dl)の方が有意に高い値であった。

		例数	TC 1	TC 2	TC 3	TC
対象		146	102(69.9)	44(30.1)	0	187.1 ± 1.2
男	高血圧	128	46(35.9)※※	33(25.8)	49(38.3)※※	210.3 ± 31.5 ※※
	肥満	66	29(43.9)※※	10(15.2)※	27(40.9)※※	209.7 ± 35.4 ※※
	高脂血症	219	34(15.5)※※	22(10.1)※※	163(74.4)※※	228.7 ± 29.3 ※※
性	糖尿病	32	14(43.8)※※	4(12.4)	14(43.8)※※	211.6 ± 43.3 ※※
	心電図虚血性変化	34	12(35.3)※※	8(23.5)	14(41.2)※※	212.1 ± 41.1 ※※
	対象	276	168(60.9)	105(39.1)	0	191.6 ± 18.4
女	高血圧	182	39(21.5)※※	41(22.5)※※	102(56.0)※※	225.0 ± 32.7 ※※
	肥満	99	21(21.2)※※	26(26.3)※	52(52.5)※※	222.8 ± 34.3 ※※
	高脂血症	451	10(2.2)※※	22(4.9)※※	419(92.9)※※	242.7 ± 24.1 ※※
性	糖尿病	27	4(14.8)※※	7(25.9)	16(59.3)※※	222.9 ± 26.1 ※※
	心電図虚血性変化	165	45(27.3)※※	33(20.0)※※	87(52.7)※※	221.8 ± 34.7 ※※

註: TC 1: コレステロール 200 mg/dl 未満、TG 2: コレステロール 200 ~ 219 mg/dl
TC 3: コレステロール 220 mg/dl 以上 ※: p < 0.05、※※: p < 0.01

		例数	TG 1	TG 2	TG 3	TG
対象		146	86(58.9)	60(41.1)	0	95.8 ± 28.8
男	高血圧	128	53(41.4)※※	37(28.9)※	38(29.7)※※	141.9 ± 84.5 ※※
	肥満	66	9(13.6)※※	20(30.3)※※	37(56.1)※※	198.9 ± 133.3 ※※
	高脂血症	219	43(19.6)※※	54(24.7)※※	122(55.7)※※	187.1 ± 121.9 ※※
性	糖尿病	32	11(34.4)※	10(31.2)	11(34.4)※※	179.8 ± 187.9 ※※
	心電図虚血性変化	34	10(29.4)※※	13(38.2)	11(32.4)※	151.1 ± 80.9 ※※
	対象	276	224(81.2)	52(18.8)	0	75.5 ± 28.6
女	高血圧	182	95(52.2)※※	59(32.4)※※	28(15.4)※※	114.0 ± 55.8 ※※
	肥満	99	40(40.4)※※	44(44.4)※※	15(15.2)※※	119.5 ± 53.7 ※※
	高脂血症	451	214(47.5)※※	153(33.9)※※	84(18.6)※※	118.4 ± 61.6 ※※
性	糖尿病	27	13(48.1)※※	11(40.8)※	3(11.1)※※	116.9 ± 73.5 ※※
	心電図虚血性変化	165	104(63.0)※※	43(26.1)	18(10.9)※※	99.3 ± 50.3 ※※

註: TG 1: 中性脂肪 100 mg/dl 未満、TG 2: 中性脂肪 100 ~ 149mg/dl
TG 3: 中性脂肪 150 mg/dl 以上 ※: p < 0.05、※※: p < 0.01

5) HDL-コレステロール(HDL-C) HDL-C を HDL-C 1(HDL-C 40mg/dl 未満)と HDL-C 2(HDL-C 40mg/dl 以上)に分類して比較すると表6に示したように、HDL-C 2の発現率は男性においては対照群(13.0%)に比べて肥満群(30.3%)の方が、また女性では対照群(2.2%)に比べて高血圧群(7.1%)、高脂血症群(5.5%)の方が有意に高率であった。HDL-Cの平均値は男女とも対照群

(男性; 52.9 g/dl、女性; 61.0 g/dl)に比べると肥満群(男性; 46.4 g/dl、女性; 55.2 g/dl)の方が有意に低い値であった。

6) 動脈硬化指数(AI) 動脈硬化指数(AI)を AI 1(AI 5.5 未満)と AI 2(AI 5.5 以上)に分類して比較すると表7に示したように、AI 2の発現率は男性においては対照群(0.7%)に比べて肥満群(7.6%)、高脂血症群(8.7%)、糖尿病群

表6 HDL-C		発現率 (%)		平均値 (mg/dl)	
		例数	HDL-C 1	HDL-C 2	HDL-C
対象		146	127(87.0)	19(13.0)	52.9 ± 12.5 0
男	高血圧	128	114(89.1)	14(10.9)	55.4 ± 13.1
	肥満	66	46(69.7)	20(30.3)	46.4 ± 10.6
	高脂血症	219	173(79.0)	46(21.0)	51.6 ± 14.4
性	糖尿病	32	24(75.0)	8(25.0)	50.0 ± 14.4
	心電図虚血性変化	34	31(91.2)	3(8.8)	54.7 ± 16.3
	対象	276	270(97.8)	6(2.2)	61.0 ± 12.8
女	高血圧	182	169(92.9)	13(7.1)	58.7 ± 14.9
	肥満	99	93(93.9)	6(6.1)	55.2 ± 12.6
	高脂血症	451	426(94.5)	25(5.5)	62.0 ± 16.6
性	糖尿病	27	26(96.3)	1(3.7)	58.3 ± 13.9
	心電図虚血性変化	165	155(93.9)	10(6.1)	60.8 ± 14.0

註：HDL-C 1；HDL-C 40 mg/dl 未満、HDL-C 2；HDL-C 40 以上

※；p < 0.05、※※；p < 0.01

(12.5%)の方が、また女性では対照群(0%)に比べて高血圧群(2.7%)、肥満群(3.0%)、高脂血症群(2.9%)の方が有意に高率であった。動脈硬化指数の平均値は男女ともに対照群(男性；2.71、女性；2.27)に比べて高血圧群(男性；2.99、女性

；3.06)、肥満群(男性；3.69、女性；3.23)、高脂血症群(男性；3.71、女性；3.17)、糖尿病群(男性；3.54、女性；3.03)、心電図虚血性変化群(男性；3.17、女性；2.82)の方が有意に高い値であった。

表7 動脈硬化指数(AI)		発現率 (%)		平均値	
		例数	AI 1	AI 2	AI
対照		146	145(99.3)	1(0.7)	2.71 ± 0.91
男	高血圧	128	124(96.9)	4(3.1)	2.99 ± 1.04 ※
	肥満	66	61(92.4)	5(7.6)※	3.69 ± 1.14 ※※
	高脂血症	219	200(91.3)	19(8.7)※※	3.71 ± 1.20 ※※
性	糖尿病	32	28(87.5)	4(12.5)※※	3.54 ± 1.50 ※※
	心電図虚血性変化	34	32(94.1)	2(5.9)	3.17 ± 1.44 ※
	対照	276	276(100.0)	0	2.27 ± 0.76
女	高血圧	182	177(97.3)	5(2.7)※	3.06 ± 1.10 ※※
	肥満	99	96(97.0)	3(3.0)※	3.23 ± 1.09 ※※
	高脂血症	451	438(97.1)	13(2.9)※	3.17 ± 1.09 ※※
性	糖尿病	27	26(96.3)	1(3.7)	3.03 ± 1.05 ※※
	心電図虚血性変化	165	163(98.8)	2(1.2)	2.82 ± 0.98 ※※

註：AI 1;AI 5.5 未満、AI 2;AI 5.5 以上、※;p<0.05,※※;p<0.01

7) 空腹時血糖(FPG) 空腹時血糖を FPG 1 (FPG 110 mg/dl 未満)、FPG 2 (FPG 110~125 mg/dl)、FPG 3 (FPG 126 mg/dl 以上)に分類して比較すると表8に示したように、FPG 1の発現率は男性においては対照群(95.2%)に比べて高血圧群(85.2%)、肥満群(77.3%)、高脂血症群

(85.4%)、心電図虚血性変化群(76.5%)の方が、また女性では対照群(98.2%)に比べて高血圧群(94.0%)、肥満群(89.9%)の方が有意に低率であり、FPG 2の発現率は男女とも対照群(男性；4.8%、女性；1.8%)に比べて肥満群(男性；16.6%、女性；7.1%)の方が有意に高率であった。

FPG の平均値は男女とも対照群(男性：92.0 mg/dl、女性：87.8 mg/dl)に比べて高血圧群(男性：100.3 mg/dl、女性：93.0 mg/dl)、肥満群(男性：103.3 mg/dl、女性：95.4 mg/dl)、高脂血症

群(男性：101.2 mg/dl、女性：91.8 mg/dl)、心電図虚血性変化群(男性：110.6 mg/dl、女性：90.0 mg/dl)の方が有意に高い値であった。

表 8 空腹時血糖(FPG) 発現率(%) 平均値(mg/dl)

	例数	FPG 1	FPG 2	FPG 3	FPG
対照	146	139(95.2)	7(4.8)	0	92.0 ± 8.7
男 高血圧	128	109(85.2)※※	14(10.9)	5(3.9)※※	100.3 ± 20.8 ※※
肥満	66	51(77.3)※※	11(16.6)※	4(6.1)※※	103.3 ± 25.8 ※※
高脂血症	219	187(85.4)※※	21(9.6)	11(5.0)※※	101.2 ± 25.8 ※※
性 糖尿病	32	9(28.1)※※	8(25.0)※※	15(46.9)※※	141.3 ± 50.8 ※※
心電図虚血性変化	34	26(76.5)※※	5(14.7)	3(8.8)※※	110.6 ± 41.8 ※※
対照	276	271(98.2)	5(1.8)	0	87.8 ± 8.1
女 高血圧	182	171(94.0)※	8(4.4)	3(1.6)※	93.0 ± 12.3 ※※
肥満	99	89(89.9)※※	7(7.1)※	3(3.0)※※	95.4 ± 15.0 ※※
高脂血症	451	435(96.4)	9(2.0)	7(1.6)	91.8 ± 11.5 ※※
性 糖尿病	27	12(44.5)※※	4(14.8)※※	11(40.7)※※	121.1 ± 28.7 ※※
心電図虚血性変化	165	164(99.4)	1(0.6)	0	90.0 ± 7.9 ※※

註: FPG 1 ; 空腹時血糖 110 mg/dl 未満、FPG 2 ; 空腹時血糖 110~125 mg/dl,

FPG 3 ; 空腹時血糖 126 mg/dl 以上、※ ; p<0.05、※※ ; p<0.01

8) 75gOGTT2 時間血糖(2hPG) 75gOGTT2 時間血糖を 2hPG 1 (2hPG 140 mg/dl 未満)、2hPG 2 (2hPG 140~199 mg/dl)、2hPG 3 (2hPG 200 mg/dl 以上)に分類して比較すると 表9 に示したように、2hPG 1 の発現率は男女ともに対照群(男性：89.0%、女性：89.1%)に比べて高血圧群(男性：68.8%、女性：65.4%)、肥満群(男性：65.1%、女性：66.7%)、高脂血症群(男性：71.7%、女性：73.4%)、心電図虚血性変化群(男性：67.6%、女性：75.2%)の方が有意に低率であった。2hPG 2 の発現率は男性においては対照群(11.0%)に比べて高血圧群(24.2%)、肥満群(25.8%)、高脂血症群(20.5%)の方が、また女性では対照群(10.9%)に比べて高血圧群(30.2%)、肥満群(27.3%)、高脂血症群(23.3%)、心電図虚血性変化群(24.2%)の方が有意に高率であった。2hPG の平均値は男女ともに対照群(男性：106.8 mg/dl、女性：111.1 mg/dl)に比べて高血圧群(男性：135.3 mg/dl、女性：132.6 mg/dl)、肥満群(男性：146.9 mg/dl、女性：91.8 mg/dl)、高脂血症 男性：146.9 mg/dl、女性：139.4 mg/dl)、心電図

虚血性変化群(男性：156.2 mg/dl、女性：120.6 mg/dl)の方が有意に高い値であった。

9) 尿酸(UA) 尿酸を尿酸 1 (尿酸 7.0 mg/dl 未満)と尿酸 2 (尿酸 7.0 mg/dl 以上)に分類して比較すると 表10 に示したように、男性において尿酸 2 の発現率は対照群(9.6%)に比べて肥満群(30.3%)の方が有意に高率であり、尿酸の平均値は対照(5.5mg/dl)に比べて高血圧群(5.9mg/dl)、肥満群(6.5mg/dl)、高脂血症群(5.9mg/dl)の方が有意に高い値であった。女性では尿酸 2 の発現率は対照群(0.4%)に比べて高血圧群(2.2%)、肥満群(2.0%)、高脂血症群(1.6%)、糖尿病群(3.7%)、心電図虚血性変化群(1.8%)の方に高率の傾向がみられたけれども有意差はなかったが、尿酸の平均値は対照群(4.1mg/dl)に比べて高血圧群(4.5mg/dl)、肥満群(4.6mg/dl)、高脂血症群(4.4mg/dl)、糖尿病群(男性：138.1 mg/dl、女性：126.6 mg/dl)、心電図虚血性変化群(4.3mg/dl)の方が有意に高い値であった。

	例数	発現率(%)			平均値(mg/dl)
		2hPG 1	2hPG 2	2hPG 3	2hPG
对照	146	130(89.0)	16(11.0)	0	106.8 ± 25.4
男 高血圧	128	88(68.8)※※	31(24.2)※※	9(7.0)※※	135.3 ± 65.2 ※※
肥満	66	43(65.1)※※	17(25.8)※	6(9.1)※※	146.9 ± 75.0 ※※
高脂血症	219	157(71.7)※※	45(20.5)※	17(7.8)※※	138.1 ± 71.6 ※※
性 糖尿病	32	0	3(9.4)	29(90.6)※※	285.3 ± 109.2 ※※
心電図虚血性変化	34	23(67.6)※※	4(11.8)	7(20.6)※※	156.2 ± 109.5 ※※
对照	276	246(89.1)	30(10.9)	0	111.1 ± 24.6
女 高血圧	182	119(65.4)※※	55(30.2)※※	8(4.4)	132.6 ± 45.1 ※※
肥満	99	66(66.7)※※	27(27.3)※※	6(6.0)※※	139.4 ± 45.5 ※※
高脂血症	451	331(73.4)※※	105(23.3)※※	15(3.3)	126.6 ± 40.0 ※※
性 糖尿病	27	0	1(3.7)	26(96.3)※※	253.0 ± 53.2 ※※

註: 2hPG 1; 負荷後 2 時間血糖 140 mg/dl 未満、2hPG 2; 負荷後 2 時間血糖 140~199 mg/dl

2hPG 3; 負荷後 2 時間血糖 200 mg/dl 以上、※; p<0.05, ※※; p<0.01

	例数	発現率(%)		平均値(mg/dl)
		尿酸 1	尿酸 2	尿酸
对照	146	132(90.4)	14(9.6)	5.5 ± 1.1
男 高血圧	128	109(85.2)	19(4.8)	5.9 ± 1.2 ※
肥満	66	46(69.7)	20(30.3)※※	6.5 ± 1.5 ※※
高脂血症	219	183(83.6)	36(16.4)	5.9 ± 1.3 ※※
性 糖尿病	32	29(90.6)	3(9.4)	5.4 ± 1.3
心電図虚血性変化	34	31(91.2)	3(8.8)	5.8 ± 1.2
对照	276	275(99.6)	1(0.4)	4.1 ± 0.9
女 高血圧	182	178(97.8)	4(2.2)	4.5 ± 1.0 ※※
肥満	99	97(98.0)	2(2.0)	4.6 ± 1.0 ※※
高脂血症	451	444(98.4)	7(1.6)	4.4 ± 1.0 ※※
性 糖尿病	27	26(96.3)	1(3.7)	4.5 ± 1.1 ※
心電図虚血性変化	165	162(98.2)	3(1.8)	4.3 ± 0.9 ※※

註: 尿酸 1; 尿酸 7.0 mg/dl 未満, 尿酸、2; 尿酸 7.0mg/dl 以上,

※; p<0.05, ※※; p<0.01

10) クレアチン(Cr) クレアチンを Cr 1(クレアチン 1.3mg/dl 未満)と Cr 2(クレアチン 1.3mg/dl 以上)に分類して比較すると表 11 に示したように男女とも対照群、各疾病群の大多数は Cr 1 に属し、Cr 2 は少数であり、平均値も両群間に大差はみられなかった。

11) 尿アルブミン指数(M-alb) 尿アルブミン指数を M-alb 1(尿アルブミン指数 30mg/gCr 未満)と M-alb 2(尿アルブミン指数 30mg/gCr 以上)に分類して比較すると表 12 に示したように、男女とも対照群および各疾病群の大多数は M-alb 1 に属した

が、M-alb 2 の発現率は男性においては対照群(0.7%)に比べて高血圧群(4.8%)、糖尿病群(13.3%)、心電図虚血性変化群(9.1%)の方が、また女性では対照群(3.7%)に比べて糖尿病群(18.5%)の方が有意に高率であった。尿アルブミン指数の平均値は男性においては対照群(3.80mg/gCr)に比べて糖尿病群(14.78mg/gCr)、心電図虚血性変化群(39.02mg/gCr)の方が、また女性では対照群(8.17mg/gCr)に比べて糖尿病群(17.45mg/gCr)の方が有意に高い値であった。

12) GOT(AST) GOT を GOT 1(GOT 50 IU/未